

2018年度 センター試験 日本史B (本試験) ワンポイント解説

第1問	問2	①=条坊制ではなく、条里制 ②=荘園領主同士ではなく、荘園領主と地頭の間 ④=収穫高ではなく、地価
	問3	a=束帯・衣冠は男性の正装 d=モボが闊歩するようになるのは大正期
	問5	③=鎌倉時代では三斎市であったが、室町時代には六斎市となり、市場の市日は増加した
	問6	X=「1906」・「ロシア」・「境界」のキーワードからポーツマス条約後の国境ラインと判断し、aの北緯50度ラインを選択する Y=見出しに「関東州の管轄にあたる機関」から関東都督府を導き出し、旅順に該当するbを選択する
第2問	問2	①=前方後円墳の築造は禁止されていない ②=屯倉ではなく、田荘 ④=公奴婢ではなく、舎人
	問3	Ⅲ=高句麗との交戦(391年～) ⇒ Ⅱ=倭の五王(5世紀) ⇒ Ⅰ=磐井の乱(527年)
	問4	②=郡司の子弟ではなく、国司の子弟
第3問	問2	②=月行事や町組は鎌倉時代ではなく、室町時代 ③=『十六夜日記』は室町時代ではなく、鎌倉時代 ④=酒屋に対する課税は室町時代の初期より行われていた
	問3	Ⅰ=承久の乱後(1221年以降) ⇒ Ⅲ=初めての皇族将軍(北条時頼) ⇒ Ⅱ=両統迭立の提案(鎌倉時代末期)
	問5	X=兵庫などの港町は衰退していない
	問6	④=侘茶は豪華さよりも簡素さをたつとぶ
第4問	問2	Ⅰ=天草版(桃山文化) ⇒ Ⅱ=垂欧堂田善(宝暦・天明期) ⇒ 高島秋帆(天保期)
	問3	①=日朝貿易を独占したのは対馬藩の宗氏 ②=謝恩使ではなく、通信使 ④=日本国王に改めさせたのは徳川家綱ではなく、新井白石(徳川家宣)
	問6	②=村方騒動ではなく、代表越訴型一揆
第5問	問2	①=幕府の独断ではなく、朝廷や諸大名にも意見を述べさせた ②=徳川慶喜ではなく、徳川家茂 ③=坂下門外の変ではなく、桜田門外の変
	問3	Ⅱ=緒方洪庵(江戸後期) ⇒ Ⅲ=お雇い外国人(明治維新时期) ⇒ Ⅰ=志賀潔(明治期)
第6問	問3	②=伊藤博文が暗殺されたのは1909年のこと ③=毛沢東ではなく、蔣介石 ④=西安事件をきっかけに実現したのは第一次ではなく、第二次国共合作
	問4	Ⅱ=社会民主党結成・解散(1901年) ⇒ Ⅲ=第一回普通選挙(1928年) ⇒ Ⅰ=河合榮治郎の『ファシズム批判』発禁処分(日中戦争期)
	問5	③=文化財保護法は1949年の法隆寺金堂壁画焼損がきっかけで1950年に発令
	問6	Y=五・一五事件直後に成立した内閣は斎藤実内閣であり、軍部大臣現役武官制を復活させた内閣は広田弘毅内閣である
	問7	①=自由民主党初代総裁は鳩山一郎 ②=日本社会党を中心とする連立政権の首相は片山哲 ④=降伏文書調印は東久瀨宮稔彦内閣
	問8	d=史料の出典には1960年とあり、日中平和友好条約は1978年なのでこの当時に締結されたものではない